



継承と創造

額田中学校 校長室だより



10月29日
(土)
第16号

合唱の額田を具現化した気持ちのこもった合唱練習



十月の中旬から文化祭合唱コンクールに向けて、各学級とも熱が入っていきます。本年度も、昨年に続き、本校第九代校長の 先生をはじめ、先生をお招きし、合唱指導をしていただきました。歌詞に込められた思いを感じること、この曲想は何を表そうとしているのか等、選んだ曲がもつ意味や価値を感じ取ることを大切にしながら指導をしていただきました。参加する生徒の目は真剣そのものでした。まだこれから歌い込みに入る段階でしたが、ここで御指導いただいたことが以降の練習で生かされ、どんどん美しいハーモニーに変わっていきました。やはり、額中の生徒は歌が好きです。練習風景をのぞき見していると、リズムや強弱に合わせて自然に手が動く。大きなブレスで吸い込んだ息を、声と共にすーっとはき出すときの、自然な体の動き。見ていると、どんどん合唱に引き込まれていきます。歌う楽しさ、思いを込める難しさを体感しながら、額中生の歌に磨きがかかっていきます。



一年総合的な学習
防災について考える
一年生は今、森林学習から発展して学区の防災について学んでいます。十月二十日は、教科・領域指導員の先生を招いて研究授業を行いました。授業者の先生は、教材を入念に研究し、授業に臨みました。この授業では、一年生が学ぶ姿が素晴らしかったです。指導員の先生も、「これが額中生の凄さですね」と驚いておられました。この日に講師として授業に参加した市役所防災課の方も、「実際に参加して、生徒の考えを聞いて、とても面白かったです」と感想を述べられました。この日の授業はどこに出しても自慢できる授業でした。それほど、生徒が課題をもち、解決しようとする姿が顕著に表れた授業でした。

現職研修

先生をお招きして

額田中の先生は、絶えず授業づくりを勉強しています。十月十七日は、いつもお世話になっている岐阜聖徳学園大学の先生から授業づくりについて学びました。先生は、全国の小中学校から呼ばれ、授業を見たり、先生方に指導したりしています。その玉置先生は「額田中はここまで到達しているのだから、さらなる飛躍を」と励ましの声を掛けるとともに、具体的なアイデアを示してくださいました。



造形おかざきつ子展
理科作品展
技術・家庭科作品展

今年度は、造形おかざきつ子展、理科作品展、技術家庭科作品展が、初となる同日程での開催、二日間の開催となりました。秋晴れの中、多くの家族連れが会場を訪れていました。おかざきつ子展の展示場所は舗装路で悔いが打たないため、土のうで重しをかけ、飛ばないよう、しっかりと展示しました。おかざきつ子展は三年ぶりの野外展示でした。



理科研究の分野では、昨年、木村資生科学賞を受賞した、三年のくんが、今年度は、日本の研究が、最優秀となる愛知県審査において、最優秀となる愛知県知事賞を受賞しました。くんは、自然の中に見られる規則性に注目し、フェボナッチ数列との関連を長年にわたり、研究してきました。一つの事象、一つの事実を基に、それを継続的に、深く掘り下げる営みは、まさに「科学する目」をもった研究と言えます。今、くんは、十一月に東京で行われる中央審査に研究を提出すべく、新たな書式に合わせて、研究したことを再編集していることと思います。絶えることのない探究心と情熱に脱帽です。

先生
教育実習終了

一年一組で楽しく過ごしていた先生が実習を終え、大学に戻られました。最後の日はみんなでお別れ会。早く先生になって戻ってきてほしいですね。

